

用語の説明

自主財源

町税などの自主的な収入

- 町税
町民税、固定資産税、軽自動車税、
町たばこ税
- 繰入金
特別会計や基金などから一般会計に
移されたお金
- 繰越金
前年度の決算上の剰余金
- 使用料・手数料
各施設の利用料や各種証明手数料など

依存財源

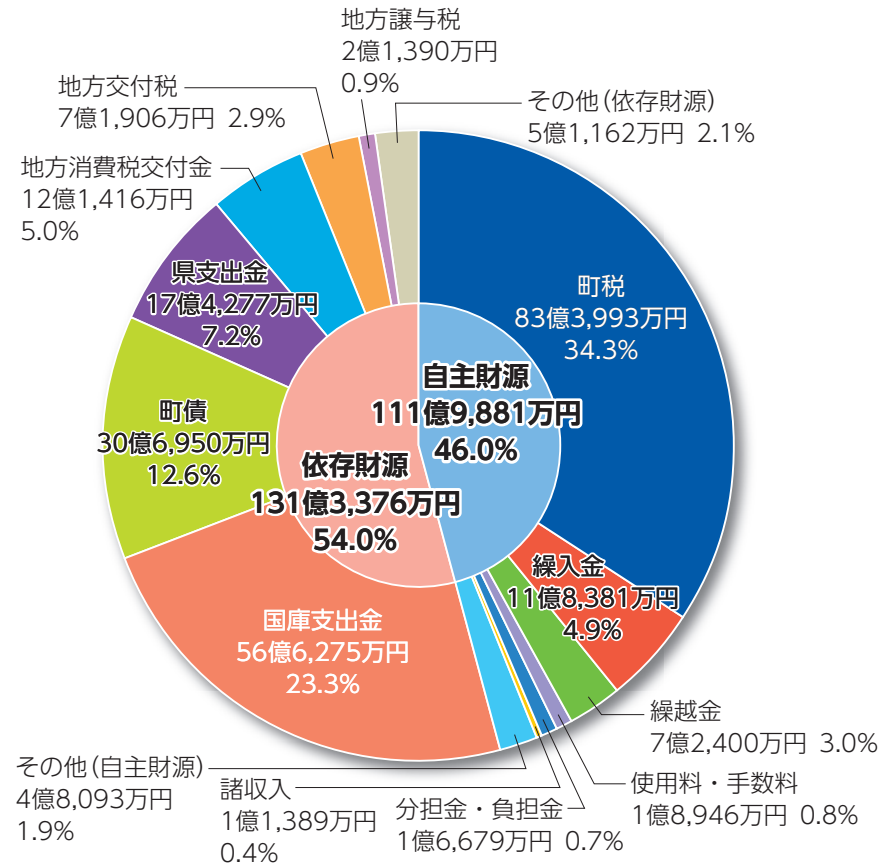
国や県から交付される収入など

- 国庫支出金、県支出金
国や県から特定の事業の財源として
交付されるお金
- 町債
町が事業を行うために国や銀行から
借りたお金
- 地方消費税交付金
国が徴収した消費税の一部が交付金
として町に交付されたお金
- 地方交付税
町の財政状況に応じて、国から支給
されるお金

一般会計
歳入

243億3,257万円

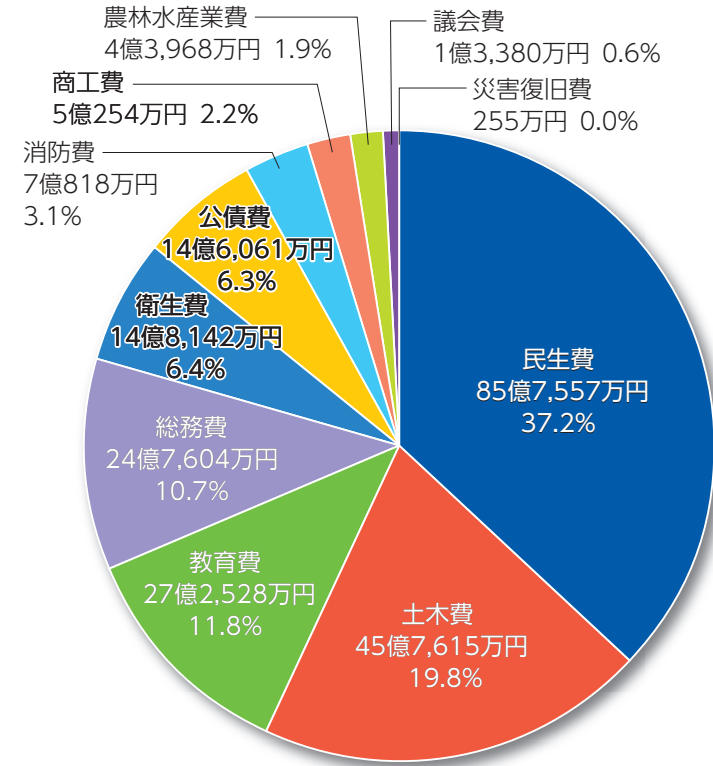
(前年度比32億4,871万円増)



一般会計
歳出

230億8,182万円

(前年度比27億2,196万円増)



※各項目の金額などは、四捨五入により、内訳の計と合計が一致しない場合があります。

令和6年度

決算

財政課 財政係 ☎096(232)2130

令和6年度一般会計の決算について、皆さんから納めていただいた税金や、国・県からの補助金や交付金などがどのように使われたのか、解説します。

特別会計

一般会計のほか、4つの特別会計の決算については、次のとおりです。

土地取得特別会計	歳入	36万円
	歳出	5万円
国民健康保険特別会計	歳入	34億2,236万円
	歳出	33億1,162万円
介護保険特別会計	歳入	30億2,956万円
	歳出	29億7,202万円
後期高齢者医療特別会計	歳入	6億819万円
	歳出	5億8,759万円

下水道事業会計

下水道事業会計は、人口増加や誘致企業からの排水量増加などの要因により1億6,866万円の純利益となりました。

引き続き下水道施設の適切な維持や効率的な更新に重点を置き、安定的な事業運営に取り組んでまいります。

収益的収支		資本的収支	
事業収益	15億9,608万円	資本的収入	7億1,071万円
事業費用	14億2,742万円	資本的支出	8億6,565万円

事業概況(令和6年度)

項目	公共下水道事業	農業集落排水事業
水洗化人口	42,410人	889人
水洗化世帯数	19,077世帯	358世帯
水洗化率	99.0%	97.9%
年間有収水量	8,835,242立方メートル	85,179立方メートル
使用料回収率	120.7%	65.9%
一般家庭使用料(全国平均)	2,020円(2,899円)	2,020円(3,321円)

※一般家庭使用料とは、使用料対象水量20立方メートルあたりの使用料収入。

令和6年度一般会計で町民1人あたりに使われたお金(歳出) 52万6,430円



※令和7年3月31日現在の人口(43,846人)で計算しています。

町の貯金と借入金(一般会計)



令和6年度
町民1人あたりに
換算した歳入
55万4,955円

※歳入を令和7年3月31日現在の人口(43,846人)で割ったもの

令和6年度の主な事業

施設の整備

- 令和8年4月のオープンに向けて、令和5年度からアーバン施設や多目的グラウンドの整備を進めており、令和6年度は測量業務や設計業務、登記などの費用として9,819万円を支出しました。また、施設整備にかかる発注工事の前払い金として8億9,263万円を支出しました。
- 教室の不足を解消するため、武蔵ヶ丘北小学校の校舎新築工事など4件に3億7,233万円を支出しました。また、学校の給食室を衛生管理基準に適合させるため、武蔵ヶ丘北小学校の給食室新築工事など2件の前払い金として1億2,553万円、武蔵ヶ丘小学校の給食室改築工事など2件の前払い金として1億2,865万円を支出しました。



➡ **くまモンアーバンスポーツパークは、スケートボードの世界大会や国内大会が誘致可能な、西日本最大級のアーバンスポーツ施設となる予定です。初心者や小さな子どもたちも楽しめるエリアも合わせて整備しています。**

物価高騰対策

- エネルギー・食料品価格などの物価高騰の影響を受けた生活者や事業者の支援を行うため、国の交付金を活用して、定額減税補足給付金・調整給付金や学校給食補助金、省エネ家電製品購入促進補助金など、合計6億4,169万円を支出しました。

➡ **今年度も国と連携して、物価高騰対策事業を進めていきます。**

子育て支援・高齢者福祉の充実

- 子どもたちの健康を守り、健やかな成長と子育てを支えるために、18歳までの医療費の負担を軽くする「子ども医療費助成事業」に2億7,794万円を支出しました。
- 学校給食費を補助するため、児童生徒一人当たり月2千円、計8,342万円を支出しました。
- 高齢者が集会所に集まり、体操などの介護予防活動を行う「ふれあいサロン」や、地域が自主的に介護予防活動を実施する「住民主体型事業」などの地域介護予防活動支援事業費として、2,675万円を支出しました。



➡ **今後も、菊陽町に住んで良かったと思える施策を実施していきます。**

道路の整備



- 菊陽空港線延伸計画道路など9路線の道路改良工事および測量設計を行うため、13億9,343万円を支出しました。
- 安全で快適に通行できる道路環境を保つために、道路の舗装の打ち換えや構造物の修繕、側溝の清掃、街路樹の手入れなどに2億4,220万円を支出しました。

➡ **引き続き渋滞解消に向けて、最優先で取り組みを進めます。**

町の財政は健全な状態です

令和6年度決算に基づき「健全化判断比率」と「資金不足比率」を算定しました。

これは、これらの比率から地方公共団体の財政状況悪化の様子を捉え、早いうちから健全化を図ることを目的としたものです。

町は全ての指標で早期健全化基準を下回っており、財政は比較的健全な状況です。

※健全化判断比率：財政の早期健全化や財政再生の必要性を判断するための比率

※資金不足比率：公営企業会計ごとの資金不足額の事業規模に対する割合

健全化判断比率			早期健全化基準	財政再生基準
①	実質赤字比率	黒字のためなし	13.30%	20.00%
②	連結実質赤字比率	黒字のためなし	18.30%	30.00%
③	実質公債費比率	8.2%	25.0%	35.0%
④	将来負担比率	52.7%	350.0%	
資金不足比率			経営健全化基準	
①	下水道事業会計	黒字のためなし	20.00%	
②	工業団地造成事業特別会計	決算額が0のためなし	20.00%	

令和6年度 決算審査

町監査委員からは、決算などの審査の結果、「審査に付された令和6年度一般会計および特別会計の歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調査および財産に関する調査、並びに令和6年度定額の資金を運用するための基金の運用状況については、審査した限りにおいて、関係諸帳票および証拠書類の計数と符合し、適正に作成または運用されていると認められた」とした上で、財政状況に関する課題などについて、次の意見がありました（意見の詳細は、町ホームページで御覧いただけます）。

① 財政状況に関する課題

…経常収支比率については、経常的経費の抑制を図り、健全な財政運営の維持に繋がっていただきたい。

② 基金の運用状況に関する課題

…土地開発基金に属する土地の取り扱いについては、各会計で土地開発基金からの買い取り（所管替）を進めることが必要。

③ 財務会計上の課題

…歳入歳出外現金の取り扱いについては、歳計現金との混同などが生じないよう厳格な管理の仕組みを構築することが必要。